

令和3年度

横浜市動物愛護管理業務実施結果

- 1 災害時のペット対策
- 2 地域猫活動支援事業
- 3 動物の愛護・適正飼育の普及啓発事業
- 4 猫の不妊去勢手術推進事業
- 5 マイクロチップ装着推進事業
- 6 犬、猫等の引取り・保護収容業務
- 7 収容動物の譲渡事業
- 8 狂犬病予防事業
- 9 動物取扱業の登録及び監視指導
- 10 特定動物の飼養保管許可
- 11 附属機関、他機関等との連携

1 災害時のペット対策



災害時のペット対策について市民の皆さまに広く知っていただくとともに、各地域防災拠点における災害時のペット対策の具体的な計画づくりやペットの同行避難実施のための支援を行いました。

(1) ペットの防災関連展示等実施状況

平成30年度：17区（鶴見、神奈川、西、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、栄、瀬谷）

令和元年度：18区（全区）

令和2年度：13区（鶴見、神奈川、中、南、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、港北、緑、青葉、都筑、栄）

令和3年度：14区（鶴見、神奈川、中、南、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、青葉、戸塚、栄、泉）

(2) ペットの同行避難訓練実施状況

平成30年度：12区30拠点、延参加人数 7,876人、延参加動物数138頭

（鶴見、神奈川、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、港北、緑、青葉、都筑、瀬谷）

令和元年度：11区26拠点、延参加人数6,881人、延参加動物数70頭

（鶴見、神奈川、西、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、港北、青葉、瀬谷）

令和2年度：2区2拠点、延参加人数8人、延参加動物数8頭

（神奈川、港北）

令和3年度：2区2拠点、延参加人数6人、延参加動物数6頭

（神奈川、中）

※令和2年度より集計方法を変更しています。

変更前：ペット同行避難訓練を実施した際の訓練全体の参加者数

変更後：実際にペットを連れて訓練に参加した人数

2 地域猫活動支援事業



「横浜市猫の適正飼育ガイドライン」（平成25年横浜市）の趣旨に基づき、飼い主のいない猫に起因するトラブルを減らすとともに、飼い主のいない猫を減少させていくことを目的として、地域猫活動支援事業を平成30年4月より実施しました。

◎ 登録状況等（令和4年3月31日現在）

平成30年度：3区7地域（神奈川区、戸塚区、泉区）、手術実施頭数 32頭

令和元年度：6区12地域（神奈川区、南区、港南区、戸塚区、泉区、瀬谷区）、手術実施頭数 73頭

令和2年度：8区26地域（神奈川区、南区、港南区、港北区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区）、手術実施
数 105頭

令和3年度：11区39地域（神奈川区、中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、港北区、戸塚区、栄区、
泉区、瀬谷区）、手術実施数 85頭

3 動物の愛護・適正飼育の普及啓発事業



例年、飼い主のマナー向上や、終生飼育の普及啓発を推進し、動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めるため、動物愛護センター及び各区で啓発事業を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した事業もあります。

(1) ホームページ、チラシ等による市民への情報提供

ホームページや「広報よこはま」への掲載及び各種普及啓発チラシを活用し、動物愛護に関する様々な情報提供を行いました。

(2) 動物愛護センターでの啓発事業

◎ 適正飼育啓発

・ 犬・猫セミナー 【開催なし】

飼い犬・猫のしつけやお手入れ、医療、地域猫等についての講習

・ 適正飼育啓発事業 【開催なし】

犬や猫の飼い主に対し、しつけや健康管理、高齢動物の介護など、適正飼育に関する啓発事業

◎ 愛護普及啓発

・ 動物愛護フェスタ 【開催なし】

動物愛護週間に合わせて行う動物愛護啓発イベント

今年度はペットの災害対策セミナーの動画配信を行いました。

・ こども向け啓発事業 【開催なし】

こどもアドベンチャー、夏休み自由研究

・ 動物愛護啓発事業 【11回 209人】

◎ その他

・ 防災関係普及啓発 【開催なし】

災害時のペット対策、同行避難等防災関連の普及啓発

(3) 各区での啓発事業

◎ 小中学校等学校での愛護普及啓発事業 【 3 回 119 人】

◎ 飼い主への適正飼育普及啓発 【 22 回 455 人】

愛犬マナー教室、猫の屋内飼育、犬猫の健康管理等

◎ 町内会、地域防災拠点への啓発 【 60 回 1,647 人】

ペット防災啓発、飼い主のいない猫に関する説明会等

(4) 動物に関する相談などについて

本市には、動物の飼育に関する様々な相談などが寄せられます。個々に対応するとともに、動物の適正飼育やマナー向上等を推進しました。

◎ 犬の苦情等件数の推移

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
苦情等内容件数		2,110件	1,975件	2,285件	1,856件
内訳	野犬等保護	125件	50件	52件	56件
	放し飼い	108件	70件	86件	116件
	ふん尿	1,149件	1,223件	1,457件	1,423件
	鳴き声	216件	173件	235件	225件
	身体・器物の被害	111件	112件	118件	130件
	不適切な取扱い・虐待	82件	87件	117件	87件
	登録・注射に関すること	170件	147件	141件	135件
	その他	149件	113件	79件	105件

◎ 猫の苦情等件数の推移

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
苦情等内容件数		2,306件	1,956件	1,742件	1,412件
内訳	ふん尿	767件	601件	720件	780件
	臭気・毛	84件	57件	41件	59件
	鳴き声	46件	40件	51件	36件
	身体・器物の被害	95件	83件	91件	71件
	不適切な取扱い・虐待	55件	66件	96件	63件
	収容に関する相談	672件	507件	401件	334件
	その他	587件	602件	342件	391件

4 猫の不妊去勢手術推進事業



飼い主のいない猫を減らすため、不妊去勢手術費用の一部補助を行いました。

令和3年度補助の内容

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の補助：一頭につき 5,000 円

◎ 猫の不妊去勢手術推進事業の実績（頭数）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績頭数	3,922	3,884	4,075	3,257

5 マイクロチップ装着推進事業



迷子になったペットが飼い主の元にもどるために有効なマイクロチップ装着費用の一部を補助しました。

令和3年度補助の内容

マイクロチップ装着費用の補助：650頭を対象に一頭につき 1,500 円

◎ マイクロチップ装着推進事業の実績（頭数）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
犬	144	140	159	134
猫	388	397	318	396
計	532	537	477	530

6 犬、猫等の引取り・保護収容業務



◎ 犬の収容頭数、返還数、譲渡数及び致死処分数等

		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度
収容頭数	総数	271	294	231	150	169	148
	飼い主不明犬	223	182	167	94	107	81
	飼えなくなった犬	44	107	59	50	54	62
	傷病犬	4	5	5	6	8	5
返還数		165	138	110	72	87	69
譲渡数		76	101	88	54	80	70
致死処分数		36	29	30	28	10	7
自然死		0	4	2	4	6	1
死体搬入		3	0	0	0	0	0

◎ 猫の収容頭数、返還数、譲渡数及び致死処分数等

* カッコ内は 91 日齢未満の幼猫の頭数 (内数)

		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度
収容頭数	総数	1,306 (937)	1,179 (772)	948 (640)	906 (552)	901 (541)	629 (399)
	飼い主不明猫	710	588	492 (462)	443 (427)	414 (397)	312 (305)
	飼えなくなった猫	96	185	105 (21)	138 (14)	181 (24)	86 (3)
	傷病猫	500	406	351 (157)	325 (111)	306 (120)	231 (91)
返還数		15 (3)	16 (4)	13 (2)	6 (0)	6 (0)	9 (0)
譲渡数		521 (308)	483 (386)	378 (251)	417 (244)	470 (282)	368 (248)
致死処分数		404 (266)	387 (247)	332 (215)	250 (139)	179 (90)	94 (56)
自然死		134 (90)	116 (84)	89 (54)	83 (49)	96 (67)	68 (40)
死体搬入		225 (82)	179 (67)	138 (53)	161 (45)	146 (49)	100 (34)

7 収容動物の譲渡事業



譲渡は、動物愛護センターから個人へ直接譲渡する個人譲渡のほか、動物愛護センターから譲渡を受けた団体が個人への譲渡を行う団体譲渡、公益社団法人横浜市獣医師会会員の動物病院を経由した譲渡など、様々な方法で譲渡を進めました。

(1) 平成30年度から令和3年度までの譲渡実績

	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度			
	譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳		
		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会
犬	88	3	82	3	54	2	48	4	80	19	57	4	70	4	58	8
猫	378	42	148	188	417	76	183	158	470	71	196	203	368	55	150	163
その他	14	12	1	1	5	3	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0

* 譲渡団体登録数 28 団体（令和4年3月31日現在）

(2) 譲渡前講習

譲渡を希望される個人の方に対し、正しい飼育方法や飼育に関する基本的なマナー、関係法令、動物由来感染症等に関する講習を実施しました。

犬：	個別講習	6組	10人
猫：	個別講習	62組	127人
その他：	個別講習	0組	0人

8 狂犬病予防事業



狂犬病の発生やまん延を予防するため、狂犬病予防法に基づく犬の登録・狂犬病予防注射の必要性、飼い主の義務について広く市民にお知らせし、犬の登録と注射の実施の促進を図りました。

◎ 横浜市の登録犬の狂犬病予防注射接種率の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録数	175,366	173,827	173,551	173,140
注射済票交付数	130,264	127,905	130,417	125,506
接種率	74.3%	73.6%	75.1%	72.5%

9 動物取扱業の登録及び監視指導



動物愛護センター及び各福祉保健センター生活衛生課が、登録業務や監視を行い、施設の状況、取り扱う動物の管理の方法等を確認しました。

◎ 第一種動物取扱業 登録数及び監視件数の推移

年度	登録 施設数	業種別登録数						登録数計	施設 検査数	指導 施設数
		販売	保管	貸出し	訓練	展示	譲受 飼養			
平成30年度	1,327	385	993	48	212	65	6	1,709	467	164
令和元年度	1,412	404	1,054	54	220	78	5	1,815	470	151
令和2年度	1,393	399	1,044	51	225	83	5	1,807	301	132
令和3年度	1,333	360	1,012	45	210	76	5	1,708	519	189

◎動物取扱責任者研修

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止とし、資料送付や動画配信により法改正等について必要な周知を行いました。

10 特定動物の飼養保管許可



人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物として定められている特定動物を市内で飼養するには市長の許可が必要です。令和3年度にはワニなど43件の許可を行いました。

◎特定動物の飼養許可状況について（令和4年3月31日現在）

種類 区分	霊長目		食肉目		長鼻目		奇蹄目		偶蹄目		ダチョウ目	
	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数
施設数 等	8	108 (0) *	8	55 (6)	2	4 (0)	2	6 (0)	3	9 (0)	0	0 (0)
種類 区分	タカ目		カメ目		トカゲ目		ワニ目		合計			
	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所**		頭数	
施設数 等	4	5 (1)	11	16 (7)	19	63 (34)	11	15 (6)	41		281 (54)	

* 頭数の（ ）は、愛がん目的の飼養頭数です。その他の目的には、動物園等における展示、試験研究等があります。

**同一施設に複数の許可がある場合は1箇所として集計

11 附属機関、他機関等との連携



◎人と動物との共生推進よこはま協議会

横浜市の動物の愛護および管理に係る施策や横浜市動物愛護センター事業計画などに関して審議していただき、活動を支援していただいております。

【 会議の開催回数 3回 】

◎横浜市動物適正飼育推進員

おもに犬・ねこ等の適正な飼い方を薦めることを目的とし、飼い主に対する飼い方のアドバイスなど、区役所と連携して地域に密着した活動を行っています。

【 横浜市動物適正飼育推進員 63人（令和4年3月31日現在） 】

◎市民ボランティアについて

現在、「人と動物との共生推進よこはま協議会」の推薦を受けた方や公募により登録をした方々に、譲渡対象の犬や猫の飼育管理のお手伝い等をしていただいております。

【 市民ボランティア登録数 45人（令和4年3月31日現在） 】

活動実績

哺育ボランティア： 19回 45頭